

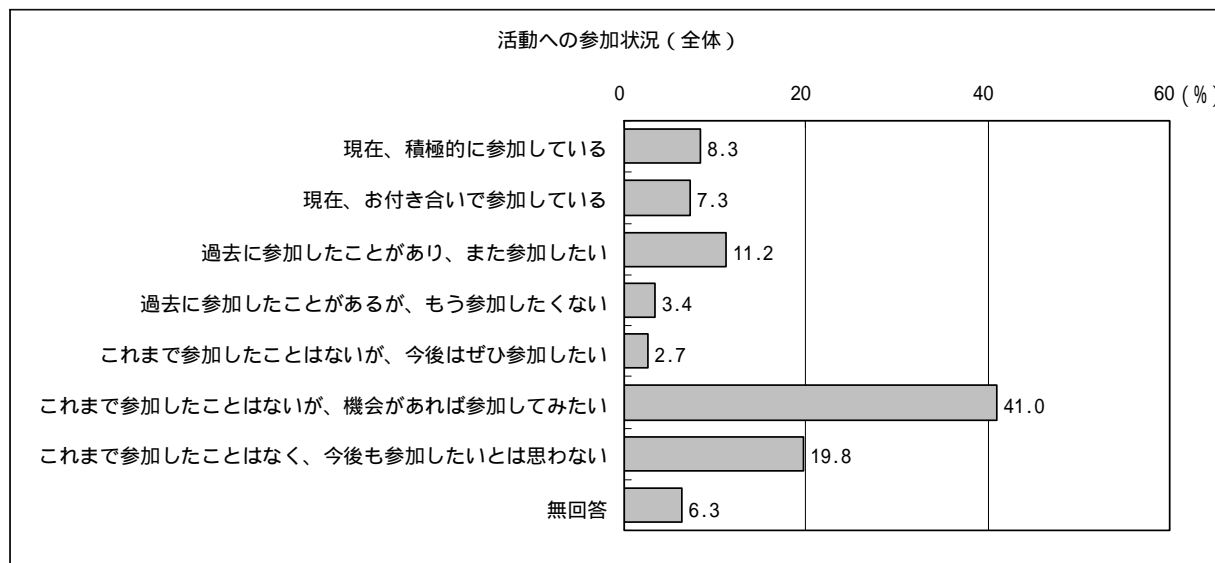
8 .「地域の人のつながりと活動に関する意識」についての調査

(1) 活動への参加状況

問3 - 1 近年、NPO（民間非営利団体）と呼ばれる、営利を目的としないボランティア団体や市民団体の活動が盛んになっていますが、あなたは、NPOやボランティア、地域の活動などに参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。（回答は単一選択式）

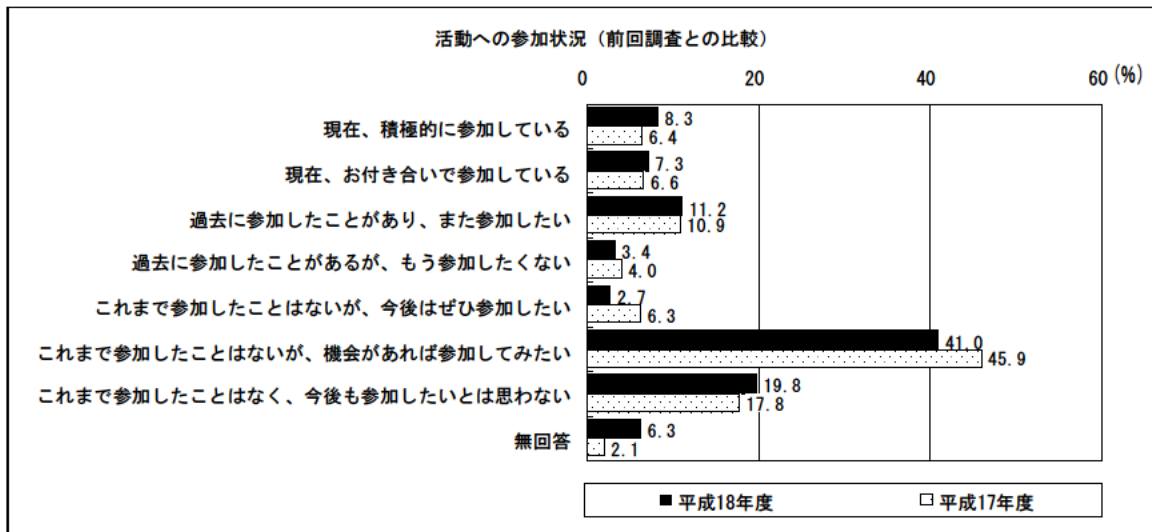
全 体

（集計資料 p.139～p.140）



平成 18 年度

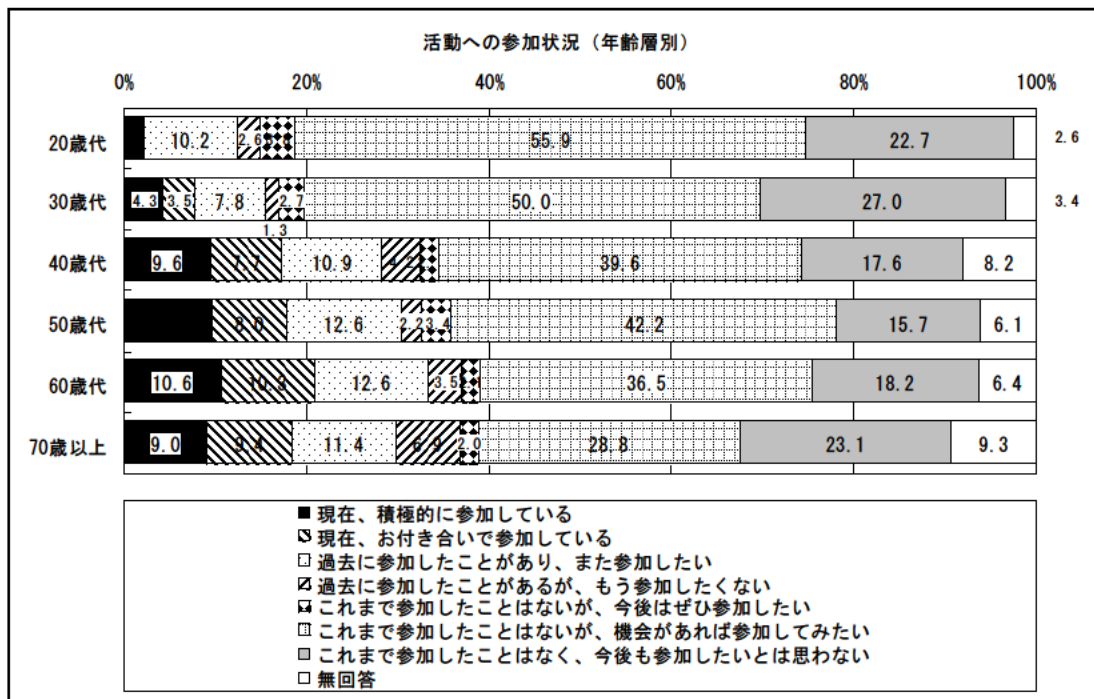
NPOやボランティア、地域の活動への参加状況や今後の意向については、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」と回答した人は4割を超えている（41.0%）のに対し、「これまで参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人は約2割（19.8%）となっている。また、“何らかの活動への参加経験者”（「現在、積極的に参加している」（8.3%）「現在、お付き合いで参加している」（7.3%）「過去に参加したことがあります、また参加したい」（11.2%）「過去に参加したことがあるが、もう参加したくない」（3.4%））は約3割（30.2%）となっている。



平成17年度と比較すると、「現在、積極的に参加している」「現在、お付き合いで参加している」「過去に参加したことがあり、また参加したい」と回答した人がそれぞれ少しずつ増加している。一方で、「これまで参加したことはないが、今後は参加したい」と回答した人が減少し、「これまで参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人が増加するなど、地域等の活動に参加の経験のある人は、これからも参加したいと考えている人が増加しつつある一方で、参加経験のない人は今後も参加したくないという人が増加する傾向になっている。

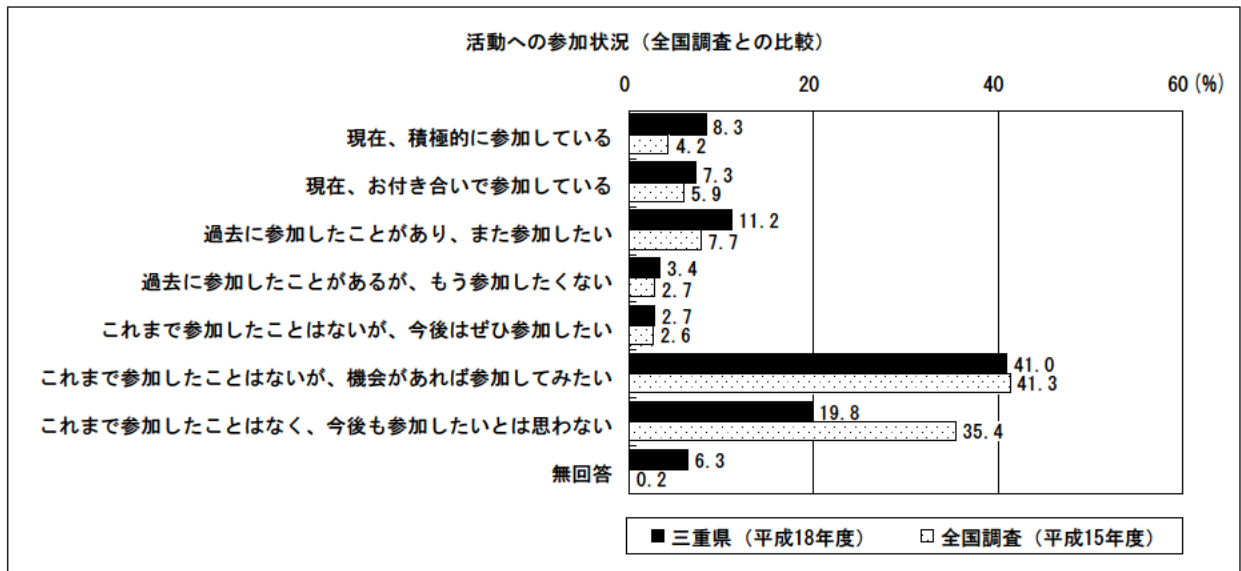
○年齢層別

(集計資料 p. 139～p. 140)



年齢層別でみると、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」と回答した人は20～30歳代の若年層で高く5割を超えている。

○全国調査との比較



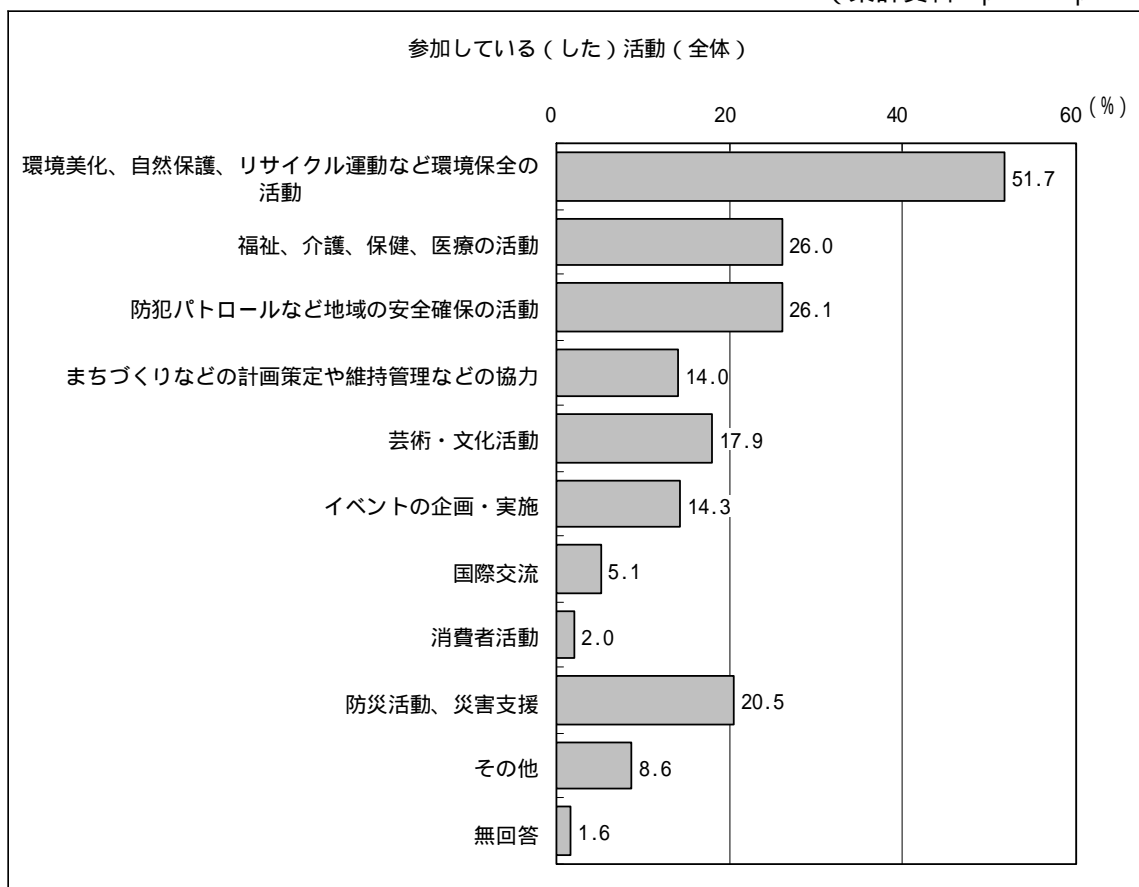
平成 15 年度に全国段階で実施された調査（内閣府「平成 15 年度国民生活選好度調査」）と比較すると、「これまで参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人の割合は、全国では約 4 割（35.4%）を占めているのに対し、三重県では約 2 割（19.8%）にとどまっている。また、「何らかの活動への参加経験者」は全国（20.5%）に比べて三重県（30.2%）の方が上回っている。

(2) 参加している(した)活動

【問3 - 1で、1～4に をつけた方だけにおうかがいします】
問3 - 2 どのような活動に参加されていますか。あるいは、参加されましたか。
(回答は複数選択式)

全 体

(集計資料 p.141～p.142)

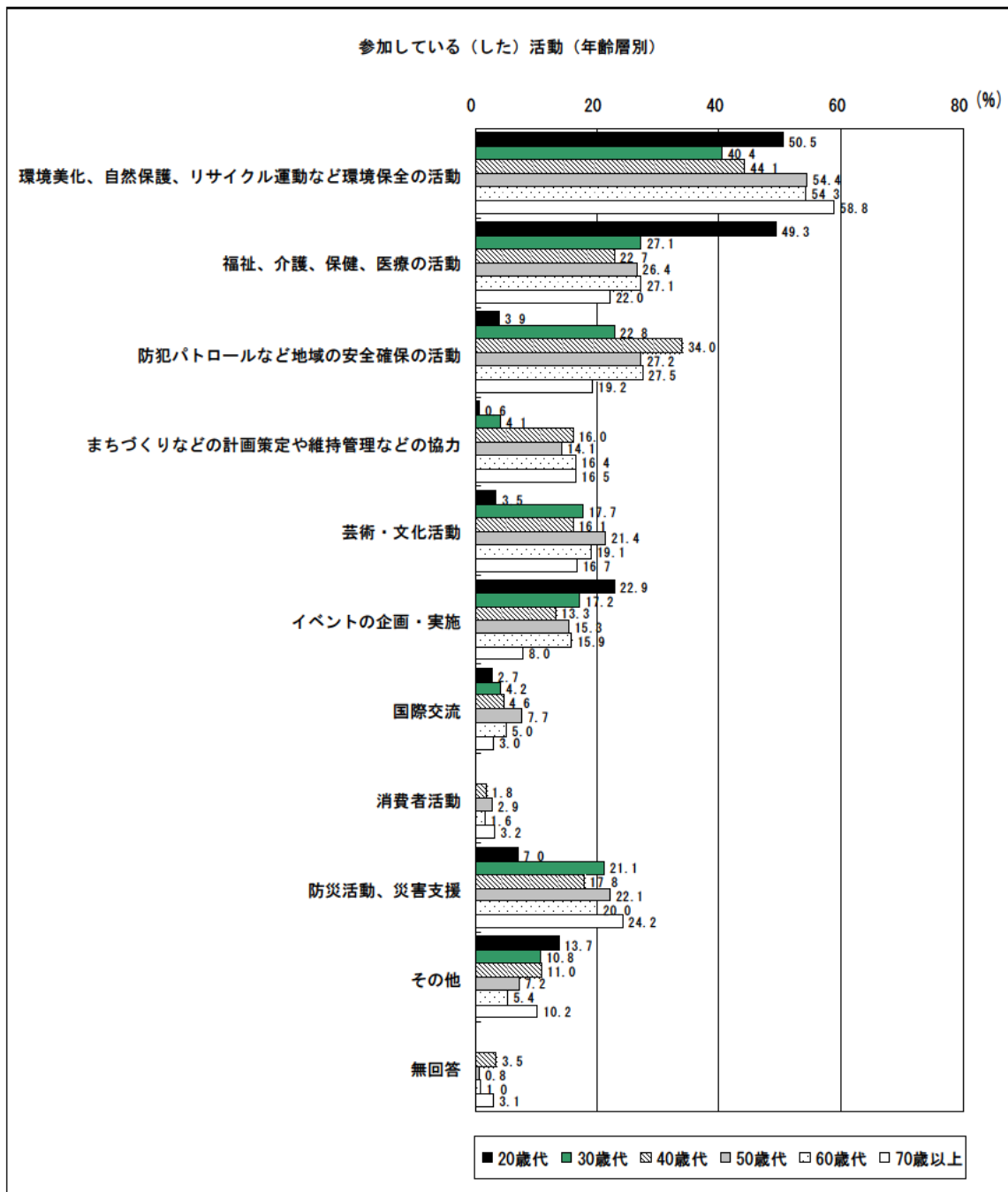


平成 18 年度

参加している、または参加した活動については、「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」と回答した人の割合が 51.7%と最も高く、およそ 2 人に 1 人の割合で参加経験がある。次いで「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」が 26.1%、「福祉、介護、保健、医療の活動」が 26.0%となっている。

○年齢層別

(集計資料 p. 141～p. 142)



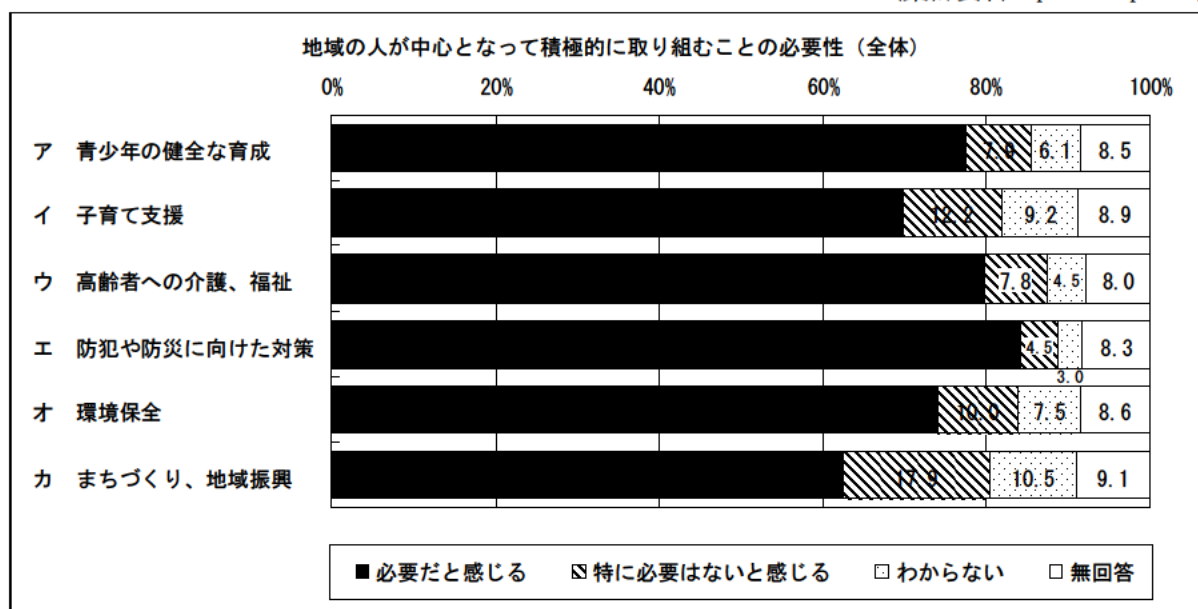
年齢層別でみると、「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」と回答した人は、20歳代と50歳代以上で高くなっている。また、「福祉、介護、保健、医療の活動」や「イベントの企画・実施」は20歳代で高くなっているのに対し、「防犯パトロールなど地域の安全確保の活動」「まちづくりなどの計画策定や維持管理などの協力」「芸術・文化活動」「防災活動、災害支援」などは20歳代で低く、他の年齢層と差がある。

(3) 地域の人を中心となって積極的に取り組むことの必要性

問3-3 あなたは、次のア～カの項目について、あなたの住んでいる地域の人を中心となって積極的に取り組むことが必要だと感じますか。(回答は各単一選択式)

○全体

(集計資料 p.143～p.148)

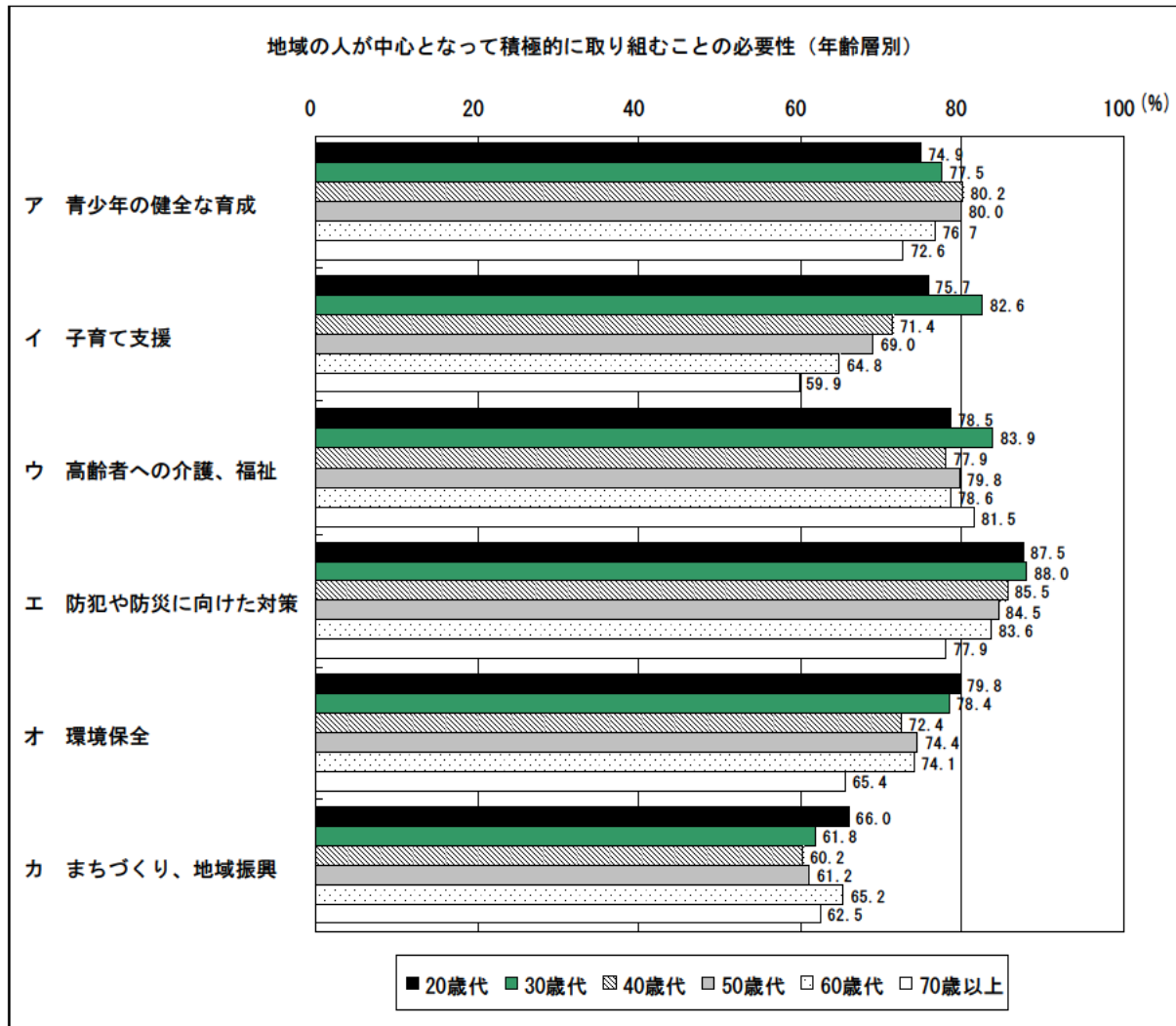


平成18年度

地域の人を中心となって積極的に取り組むことが必要だと思うことについては、「必要だと感じる」と回答した人の割合がいずれの項目でも6割を超えており、中でも「エ 防犯や防災に向けた対策」(84.3%)、「ウ 高齢者への介護、福祉」(79.8%)、「ア 青少年の健全な育成」(77.5%)は約8割を占めている。

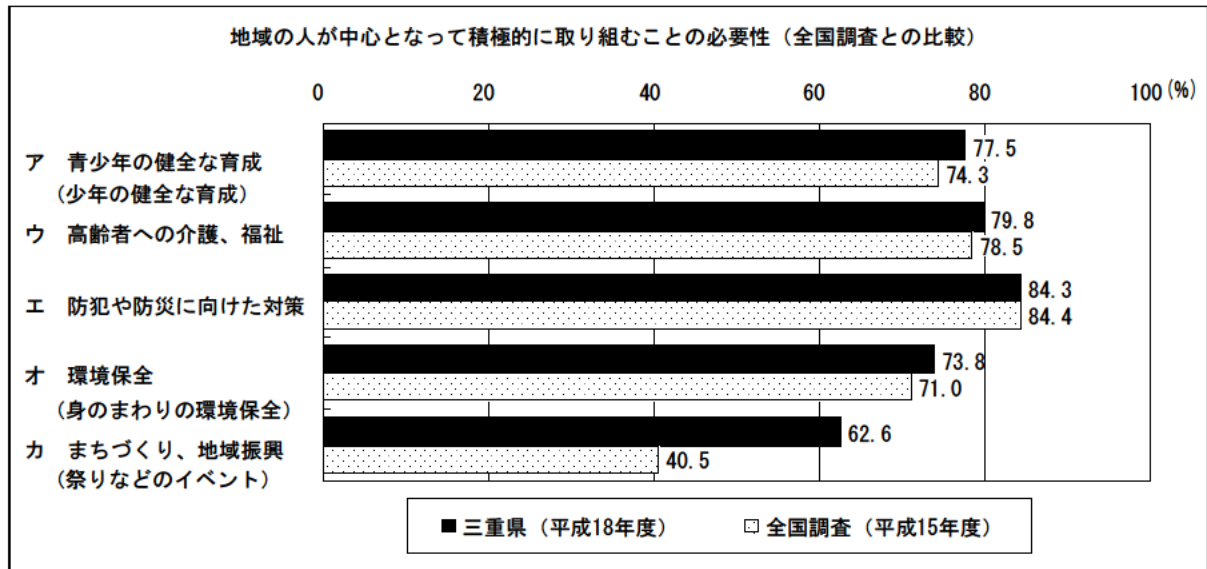
○年齢層別

(集計資料 p. 143～p. 148)



「必要だと感じる」と回答した人の割合を年齢層別で見ると、「イ 子育て支援」「オ 環境保全」は20～30歳代で高くなっている。また、「エ 防犯や防災に向けた対策」「オ 環境保全」は若い年齢層ほど高くなる傾向にある。

○全国調査との比較



※（ ）は全国調査での表記。また三重県調査の「イ 子育て支援」に該当するものがないので、ここでは省略する。

平成15年度に全国段階で実施された調査（内閣府「平成15年度国民生活選好度調査」）と比較すると、「必要だと感じる」と回答した人の割合は、「カ まちづくり、地域振興」で全国調査を22.1ポイント上回っている。

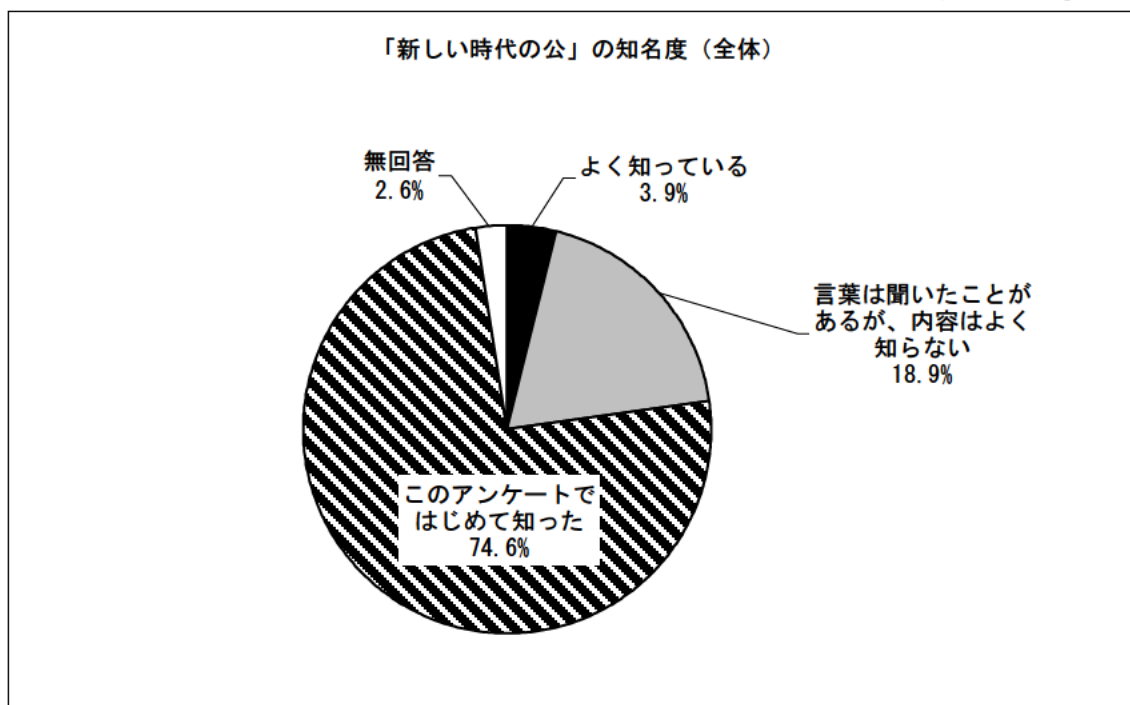
(4) 「新しい時代の公」の知名度

問3-4 あなたは、「新しい時代の公」という言葉を知っていましたか。

(回答は単一選択式)

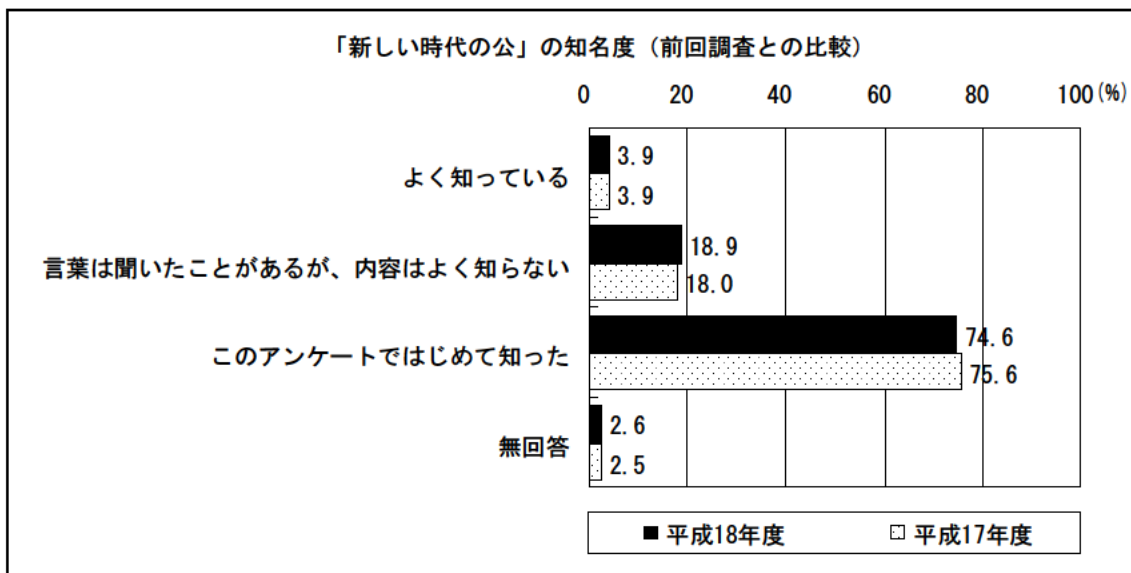
○全体

(集計資料 p.149)



平成18年度

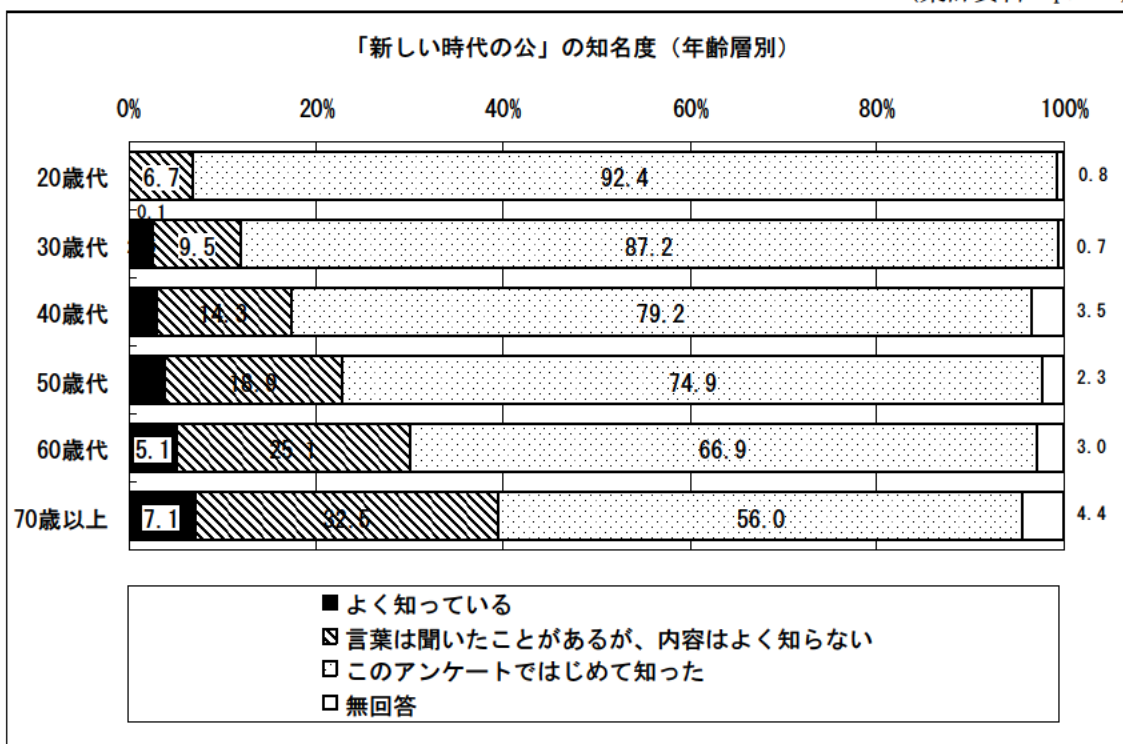
「新しい時代の公」の知名度については、「このアンケートではじめて知った」と回答した人の割合が74.6%とおよそ4人に3人が認知していなかった。一方、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」と回答した人は18.9%、「よく知っている」と回答した人は3.9%となっている。



平成17年度と比べると「よく知っている」と回答した人は変化がみられないが、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」と回答した人は、幾分増加している。

○年齢層別

(集計資料 p.149)



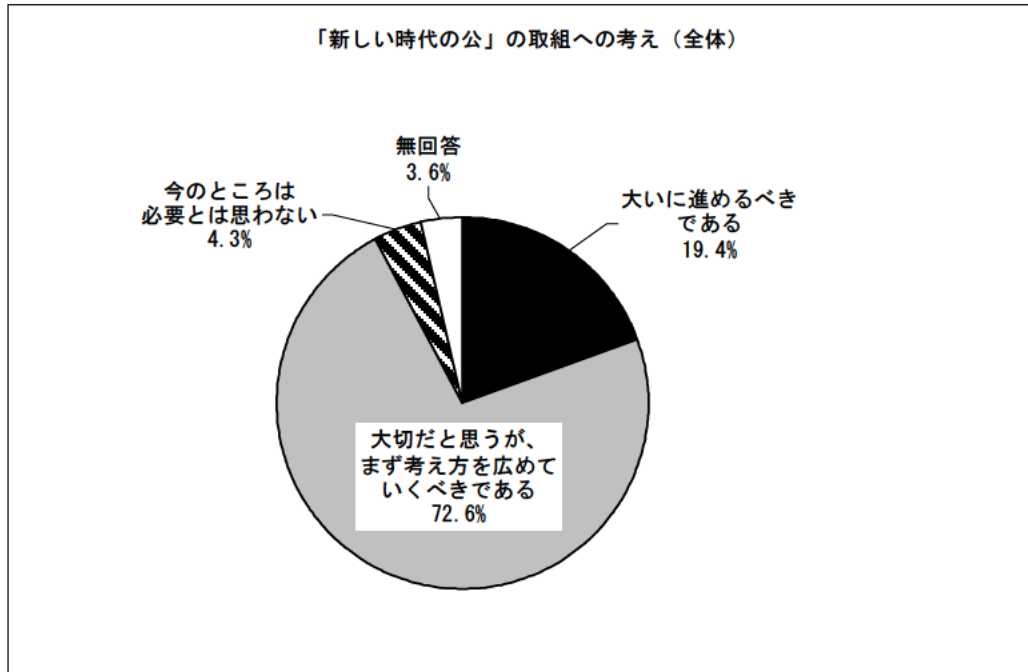
年齢層別でみると、「このアンケートではじめて知った」と回答した人は、若い年齢層ほど高くなっている。また、「よく知っている」と答えた人は年齢とともに高くなっているが、いずれの年齢層でも1割未満となっている。

(5) 「新しい時代の公」の取組への考え

問3-5 あなたは、このような「新しい時代の公」の取組を、どのように思いますか。
(回答は単一選択式)

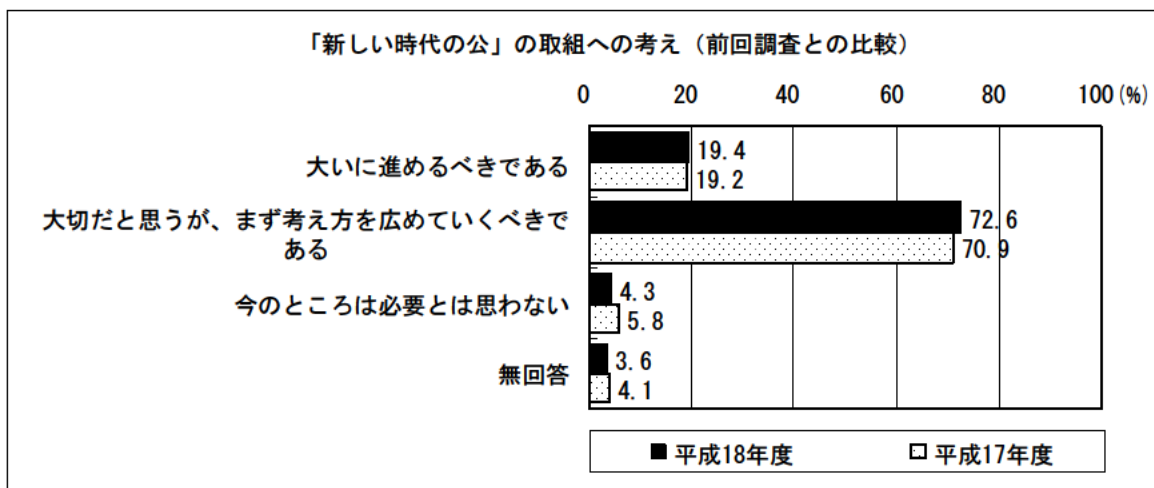
○全体

(集計資料 p.150)



平成18年度

「新しい時代の公」の取組への考えについては、「大切だと思うが、まず考え方を広めていくべきである」と回答した人の割合が72.6%と最も高く、「大いに進めるべきである」(19.4%)をあわせた、“取組に対し肯定的な意見”の人が約9割(92.0%)を占めている。一方、「今のところは必要とは思わない」と回答した人の割合は4.3%となっている。



平成17年度と比べると「大切だと思うが、まず考え方を広めていくべきである」と回答した人は、約2ポイント増加している。